

めざします。企業の繁栄と社会への貢献

“Hojin”

ほじん

新年

2021

No.711

私の経営哲学—第27回

新居浜法人会 株式会社 クック・チャム

藤田 敏子

特集 中小企業にとってのニューノーマル

老舗の肖像

株式会社 ホテル佐勘

株式会社 廣久葛本舗



公益財団法人 全国法人会総連合



年頭寸言

法人会は税のオピニオンリーダーとして
企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し
国と社会の繁栄に貢献する
経営者の団体である



ウィズコロナ 新時代に向けて

小林 栄三 *Eizo Kobayashi*

全国法人会総連合会長

昨年は、世界中が新型コロナウイルスとの闘いを強いられた一年になった。今年もまずはウイルスを制御し、共存できる状態にすることが世界の共通課題となる。叡智が結集されてワクチンの早期普及が実現し、今夏には安全安心のもとで東京オリンピック・パラリンピックが盛大に開催されることを切に願う。

そして今年は、「ウィズコロナ」の新しい経済社会の構築が本格的に始まる年にもなろう。例えば、密を避ける新しい生活スタイルに、デジタル技術を活用した新製品・サービスが利活用される事例が増えていくと予想される。また、欧州を中心に環境問題への対応が広がり、企業にとってはコスト負担が増える一方で、新たなビジネス機会となる側面もある。特に、技術力の高い日本企業には追い風となり得る。また、米国と中国の対立は続き、サプライチェーンのデカップリングという「新常态」への対応を余儀なくされることも考えられる。

こうした情勢の中で、法人会は引き続き、事業継続に必要な支援措置の拡充を政府や自治体などに提言するとともに、税務面や経営面での有益な情報を会員企業へ積極的に提供して参りたい。

会員企業の皆様には是非、異業種交流を通じて視野を広げ、次の成長に向けたヒントをつかむための気づきの場として、法人会をさらに活用していただきたい。既に一部地域の法人会がインターネットを活用しながら、コロナ禍に対応するための各社の工夫や営業情報を共有したり、テレワークの導入方法を学び合うなどの取り組みを進めている。会員相互の活発な協力が、日本経済を「ウィズコロナ新時代」に導く原動力となることを期待し、支援していきたい。

私の経営哲学

MY MANAGEMENT PHILOSOPHY

第27回

Toshiko
Fujita



人の成長こそが 企業の成長

藤田 敏子

株式会社 クック・チャム
代表取締役社長

President

新居浜市に本社をおく株式会社クック・チャムは、毎日80~100種類の出来立てのお惣菜を日替わりで提供する「おかず屋さん」。1979年に1号店をオープンさせ、現在では北海道から九州まで、全国に75店舗を展開する惣菜ビジネスのトップランナーだが、

スタートは負債を抱えた精肉店だった。そこに嫁いだ藤田敏子氏はおかずを買うという習慣がなかった時代に、そのビジネスを手探りで始め、軌道に乗せた。商品づくりや人を育てることへ母親のような愛情を注ぐ藤田社長の経営哲学を紐解いた。

Q 女手一つ、しかも未経験の分野で商品も組織もゼロから作り上げてこられた訳ですが、どんなご苦労がありましたか？

A 斜陽だった嫁ぎ先の精肉店を何とかしなくては、と焼鳥とコロツケを作ってスーパ―を回ったのがスタートです。毎日、何軒も回って交渉して、ようやく扱ってもらえるようになりました。すぐに焼鳥もコロツケも人気となり、その後25年間、あちこちのスーパ―に卸させていただきました。一方、精肉店では夕方だけテーブルを出してお惣菜を売ってみたくです。そうしたらお客さまが皆、お肉を買うのをやめてお惣菜を買っていくんです。それを見た時に「あっ、これはいけるな」と思いましたね。

当時こういうお惣菜屋はなかったので、遠方からいっばいお客さまが来られました。皆さん「うちの近くにも店を出して」とおっしゃるので、期待に応えたい、と10年で4店舗まで増やしました。でも、4店舗になった時に自分のキャパシティがいっぱいになって、もう何もできなくなってしまうんです。子どもたちはほったらかし。学校の行事はもちろん、相手をしてあげることもできませんでした。

周りからは「もう充分でしょう、やめなさい」と言われましたね。経営の勉強もしてないので能力的にも限界で、人

も相次いで辞め、うまく回らなくなりました。

そんな時に1枚のがきが来て、ある異業種交流会に行ったのですが、そこで目からうろこが落ちました。すぐに、その主催団体の専務理事に会いに東京まで行ったら、人生の年表を広げて「あなたは今、ここにおいて、何歳になったらこうなって……」。そして、「時間には限りがある。だから、勉強して自分の夢を追いかけてみよう」と言ってくれたんです。次に交流会で知り合った方の会社にお邪魔したら、社員の方がとても生き生きと働いていて、「こんなこと、でき



スタッフの9割は女性。「生涯現役」を掲げ、生き生きと働いている

るんだ……」とそこでも驚きました。そして、私も皆を生き生きさせたい、この仕事をもっとやりたい、と決意したんです。その後、その交流会で約15年、勉強しました。

Q 学んだことの中で一番良かったことはなんですか？

A こんな悩みがあるって言うのと、ああ、これはこうしたらいいんだよ、見において」と交流会の仲間たちが教えてくれたことです。具体的には損益計算書を毎日作ることで、教育の重要性です。教育はそれまでもやってきたのですが、全員に勉強がうまく行き渡らない。ならばと、衛生や接客、調理

などの仕事を11段階にランク分けして、ステップアップする『きりりカレッジ』という学校にしました。検定もあって、トップまで行けば店長になれる。初めは「こんな面倒くさいことするならば辞める」って言う人もたくさんいましたが、続けていくうちに皆、「良かった」って言うようになって。人って知識が積み上がって成長している実感わくとうれしいじゃないですか。喜びを感じながら、成長できる仕組みを構築したんです。

Q 会社の一歩の強みはなんだとお考えですか？

A まず、女性が多いことだと思えます。男性ってなんでも合理化しますよね。でも、合理化してはいけな

い、女性にしか分からない、何か違うエッセンスがあるんです。

うちでは、1品大皿1つ分の材料や調味料をバットに入れたキットを本部で作って、各店に配送し現場で調理しているのですが、その仕組みも強みの一つだと思います。キットを本部で作って、お店でまたバラすわけですから、普通に考えたら非合理的ですよ。でも、本部で最後まで作ったパック詰めのものが来たらうちのようない場はできません。目の前の厨房で作っているからこそ、ああいう、ふわっとした盛り付けができるんです。あと、お惣菜は作ったらすぐ冷やさないと傷むし、添加物を入れるか、味を濃くしないと持ちません。でも、うちは作ってすぐに出せるから添加物も使わないし、味も優しい。さらに彩りも綺麗。今はコロナ対策でパック詰めにしてもありますが、それまでは大皿で作ってたをどーんと出して、自分でパックに入れる量り売りスタイルで、それも大人気でした。

こだわりはまだたくさんあって、例えばパセリはちっちゃいアルミホイールに入れて、盛り付けた後に上に載せる。ゴマも、必ず直前に煎って、すり鉢で粗ざりにする。そうやって少しもおおいしくするために手間のかかることを愚直にやり続けたことも、うちの強さかもしれません。私のコンセプトは、「お料理上手のお母さんが作るお惣菜」。お母さんが作る料理よりもおいし

くて、家で作ると面倒なもの。素材も北海道の自社農場の無農薬野菜や専用のお味噌、指定農家さんのお米など、そこにもこだわっています。

Q 女性が多いことで、気を付けていることはありますか？

A 女性は「こうしなさい」と言うのを嫌がるので、自分たちで好きにできる仕組みを作り主導権を持たせています。発注もメニューから各店で好きなものを選んでもらう。自分で選んだことに文句は言えませんからね。

Q これまで一番大変だったことはなんですか？



店頭に並ぶメニューは立地や消費者の属性を考慮し店長が全て決めている

A 嫁いだ時に、商売がうまくいってなかったことです。中でも、金策ほどつらいことはなかったですね。それが原因であちこちでばかにされたり、嫌な目にたくさん遭いました。一生懸命やっていたのに「あの嫁さん来てとうとうお肉屋さんじゃなくなったよね」と言われた時の悔しい思いは忘れません。「絶対見返してやる！」って心の中で思っていました。それと、創業資金を借りた時、女性社長というだけで信用してもらえなかったこともありました。

Q 経営に何が一番大切だとお考えですか？

A やっぱり人の成長ですね。本人さえ気づいていない何かを引き出してあげることが、会社にとって大切ですね。たとえば、うちの専務も昔は普通のパートさんで、パソコンも触ったことがないような人でしたが、実は会社のコンピュータの仕組みを全部作ったのが彼女なんです。私が「日々損益計算書を作りたい」と言ったら、それを具現化してくれて、本人も気付かないうちにすごいことができるようになっていたんです。もちろん、彼女は彼女で私の見えないところで一生懸命勉強して努力したと思いますよ。

あと、クック・チャム四国の社長も、昔はほとんどしゃべらない無口なアルバイトで、会うたびに「あなた、物、言わなきゃ」って私に怒られていました。そ

んな子が、今では大勢の前で堂々としゃべっています。もともと芯が強く、我慢強い資質はあったでしょうが、いろんなものが勉強で培われて、成長できたんです。そんな隠れた能力を見つめるのが私の務めです。

Q 今後はどんな方向に進まれるのでしょうか？

A 今秋、新居浜市内に高齢者の雇用を目的とした村「はま・くる」を準備しています。飲食店からスタートし、今後は畑などを整備していくつもりです。クック・チャムでは70代以上の社員やパートさんも多く働いています。「店で働けなくなったら、村で私と一緒に農業しよう」と言っています。一生元気で生き生き過ごすため「生涯現役」という選択肢があってもいいと思うので。そのための、村です。

あと、女性幹部や女性社長の養成にも力を入れていきます。先進国の中でも日本は女性役員が占める割合が圧倒的に低いですが、うちもそうです。店舗を営んでいる女性はいっぱいいますが、そこからもう一歩踏み出せないんです。そこまで頑張ったんだから、もう一歩先に行ったらいいと思うのですけれどね。それを、何とか応援してあげたい。後ろからほんとは背中を押してあげたり、分からないことがあるなら教えてあげたい。昔、私がそうだったみたいに――。

COMPANY PROFILE

株式会社 クック・チャム

創業	1947年
代表取締役社長	藤田敏子
所在地	愛媛県新居浜市新須賀町2-6-16
資本金	10,000,000円
業種	野菜の企画・販売
関連会社	株式会社クック・チャム四国 株式会社クックチャムプラスー 株式会社クック・チャム my mama 株式会社九神ファームむろ 株式会社クックチャム マイシヤンス

<https://cookchum.co.jp/>



1 短時間で調理できるようなパック1個に1皿分の食材が全てセットされた「キット」 2 障がい者が生き生きと働く北海道の十勝芽室町の自社農園 3 働きやすい職場環境も藤田社長のこだわり。会社はもちろん、店舗も日曜定休にするのは、育児と仕事を両立して欲しいから



代表取締役社長
藤田 敏子

新居浜市出身。住友化学勤務を経て1947年創業の精肉店大平屋に嫁ぐ。女性経営者らしく細やかな優しい視点からの経営手法でビジネスを展開、女性起業家大賞も受賞。趣味は料理とドライブ。

～withコロナ時代の発想転換～

中小企業にとっての ニューノーマル

新型コロナウイルス感染症は、政治・経済そして生活様式を含め、これまでの常識からの大きな変革を迫っている。このwithコロナ時代への変革を、ピンチの側面だけでとらえず、チャンスに変える事はできないのか。ネットラジオ「藤沢久美の社長Talk」の他、テレビや雑誌等を通じて、これまで1,000社を超える中小企業やベンチャー企業取材してきた筆者が、全国の中小企業経営者にエールを送る。

リモート化が進む都市部と 対応が迫られる地方

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは、世の中の常識を一気に変えつつある。これまで「無理」と言われていたことが、「緊急事態」という掛け声によって一気に実現した。学校のオンライン授業や在宅勤務などはその代表例と言えるだろう。しかし、この変化を実感している人は、必ずしも多くはないはずだ。なぜならこれらは、都市部で大きく動いたこととであり、地方では、必ずしも進んでいない。

パソソル総合研究所の「第三回・新型コロナウイルス対策によるテレワークへの影響に関する緊急調査」によると、地域別のテレワーク実施率は図の通り。大企業が集中している、コロナ感染者が多かった等の理由は考えられるが、都市部とそれ以外の実施率の格差は大きい。また、企業規模別にテレワーク実施率を比較したデータにおいても、従業員数1万人以上の企業の42・5%に対し、100人未満の企業は15・5%と低く、調査対象が10名以上の企業であったことを勘案すると、その格差はさらに広がると思われる。同調査によるテレワークを行わな

い理由は、「テレワークを行える業務ではない」という回答が5割を超えている。確かに、建設・製造・小売業の他、運輸・宿泊・飲食業などは、その業務上の性質からテレワークには馴染みにくく、そもそも緊急事態下では休業要請の対象となっていた業種もある。さらに、地方の中小企業にとってのテレワークを取り巻く環境は、都市部や大企業とは大

調査実施期間
5月29日～6月1日 正社員のみ

サンプル数(5月)	従業員のテレワーク実施率(%)		
	5月	4月	3月
全体 (20,000)	25.7	27.9	13.2
北海道・東北 (1,890)	14.6	12.5	9.0
関東 (8,131)	38.3	41.0	18.5
東海・北陸・甲信越 (3,552)	15.6	15.2	8.7
近畿 (3,563)	23.5	25.8	11.9
中国・四国・九州 (2,864)	12.1	12.4	7.0
東京圏(東京・神奈川・埼玉・千葉) (7,233)	41.1	43.5	19.6
名古屋圏(愛知・岐阜・三重) (1,902)	17.5	17.8	8.7
大阪圏(大阪・兵庫・京都・奈良) (3,253)	24.2	26.6	11.7

エリア別のテレワーク実施率(パソソル総合研究所)

大きく違うと言える。

しかし、だからと言って、地方の中小企業はリモート対応をしなくても良いわけではない。都市部の大企業からは、テレワークを望む従業員の増加や従業員の安全確保のためにも、営業や商談をリモートで対応できるようにしたという声も聞こえてきている。そうすると、大企業との取引がある中小企業もテレワーク対応が不可欠となる。しかも、この現象は、コロナ禍だけではなく、もはやニューノーマルとして常態化する可能性がある。

災害リスクは 上昇している

ここで、改めて前提条件として共有しておきたいことがある。それは、新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、安定した社会が復活すると考えてはいけないということだ。新たなパンデミックが起きる可能性は当然のことながらゼロではないし、気候変動による自然災害の増加にも注意が必要である。気象庁からは、1時間の降雨量が50ミリ以上の発生回数は、今後2倍になるという(1970年比)推計が発表されている。2019年に発生した台風19号では、17か所で50ミリ以上の降雨量を記録し、140

か所の河川が決壊、953か所で土砂災害が発生した。今後も事業へ甚大な被害を与える災害リスクは、確実に上昇していることを認識しなければならぬ。

これまでも政府は、自然災害等の大きなリスクが顕在化するたびに、大型の財政出動をしてきたが、災害がさらに高い頻度で起き続けたならば、その施策の継続性にも不安が高まる。コロナ禍を経て、災害多発社会に備えることが企業経営にとって不可欠となっている。

備え 1

災害対応の第一歩は 日常対応

筆者は、2011年の東日本大震災の後、東日本大震災事業者再生支援機構という国の銀行の役員に就任した。この銀行は、被災した中小企業の二重債務解消を目的とし、既存債務を整理し、新たに長期的な貸し出しを行うと同時に、事業の再建をサポートする役割を担うものであった。

できるだけ多くの中小企業の支援を実施するべく、職員は各地を飛び回っていたが、助けたくてもどうしても支援できない企業もあった。そうした企業の特徴は、平時の財務諸

表が適正に記載されていないことだ。売上分の補助をしたくても、平時の財務諸表の売上が過小に記載されていれば、それ以上の支援はできない。また、家族などを従業員としている場合、平時の帳簿に給与が正確に記載されていないならば、その給与保証もできない。財務諸表を適正に作成できていなかったことが、いざというときに十分な支援を得られない結果につながったケースには、残念としか言いようがなかった。

備え 2

キャッシュの確保

財務面で、もう一つ日常対応しておいていただきたいのが、キャッシュの確保だ。災害時の政府対応に時間がかかることは、コロナ禍で誰もが経験した。最低でも3か月分の経費をまかなえる額のお金を用意しておく必要がある。預金等のキャッシュで用意することの他に、いざというときに、金融機関とコミットメントラインについて話し合える関係を築いておくことも大切だろう。

キャッシュ以外にも、もし売上が激減した際にはどのような手を打つ

かについて平時にシミュレーションしておくことは有効だ。従業員への対応、仕入れへの対応、家賃対応など、コロナ禍には様々な問題が発生したが、こうした情報を各所より入手し、自社にはどのような事前準備が必要かを整理しておけば、いざというときに慌てずに済む。

備え 3

ICT化

冒頭にも触れたことだが、中小企業にとってICT化は、喫緊の課題である。政府もデジタル庁設立に取り組み、様々な行政手続きのデジタル化も急速に進められている。金融機関も中小零細企業に対して手厚いサポートをする前に、その選別のためにインターネットによる財務諸表や資金繰りデータの連携などを求めてくる日も近づいている。様々な経営支援サービスを受けるためにもデジタル化は不可欠になりつつある。

当然のことながら、企業間の取引もデジタル化は進むであろうし、リモートワークが一般化した暁には、地方の企業でも、全国各地から優秀な人材をリモートで採用することが可能になる。デジタル化は、備えであると同時に、中小企業にとっては画期的な武器にもなる。

備え 4

新しい働き方

コロナ禍での様々な打撃の中でも、休業要請は多くの企業にとって大きな負担となった。

ある企業はコロナ禍で、自社の業務が停止した際に、逆に人手が必要となった企業を探し、それらの企業に自社の従業員を一時的に出向させてほしいと依頼した。従業員たちにも、新たな経験やスキル獲得の機会になると、他社で働くことを推奨した。そのまま他社に転職してしまう可能性もあったが、特に、若い従業員にとって、成長機会である仕事が停止してしまうことは大きな不安であり、他社で腕を磨く機会を作りたいと考えた。この企業は現在、短期的に他社で働いた社員たちが、新たなアイデアを持ち帰り、企業業績を急速に回復している。

災害だけでなく、デジタル技術の進展によっても社会が大きく変化している。デジタルトランスフォーメーションという言葉が表すように、事業のあり方も変わりつつある今、自社内だけでの人材育成では、変化に対応できる人材が育つとは言い難い。他社との交流人事などを日頃から行い、災害等で自社の事業が停滞した

際には、他社で活躍できるような関係を作っておくことも必要だ。

加えて、従業員が兼業や副業をできるように就業規則を整備しておくことも、いざというときの助けになるだろう。

ここまで、災害リスクの高まりに対して、4つの備えを紹介したが、最後に、変革の時代に中小企業に訪れているチャンスと、それを掴むために必要なことを紹介しておきたい。

人材獲得のチャンス

ICT化への備えの項目で触れたが、リモートワークの整備された中小企業は、今後、日本のみならず世界各地から優秀な人材を採用することが可能になる。地方企業や中小企業のこれまでの弱点は、職場の立地や設備等であったが、リモートワークになれば、それらの就職のハードルはぐっと下がる。

現在、クラウドワークスやランサーズ等の上場企業が、全国各地のスキルのある人材と企業のマッチングサービスを行っている。社員として採用するのではなく、必要なタイミングで必要なスキルのある人に仕事を依頼するというサービスだ。

ネット営業の戦略を考えてくれる人に一時的に仕事を依頼したり、商品売り込む戦略を一時的に考えてくれるよう依頼したりと、特定の業務を得意とする様々な人にアタックできるし、定型業務を依頼することもできる。

筆者も秘書と取材交渉担当者は、リモートで働いている人をお願いしている。二人とも直接会ったことはなく、オンラインでしかコミュニケーションをしたことがないが、経験豊富なプロフェッショナルであるため、至ってスムーズに仕事が進んでいる。オンラインでのやりとりが中心の今、オフィスに在籍してもらい必要はない。求めている成果を上げてくれるれば、時間の制約も緩やかにできるため、子育て中や介護中の優秀な人材が仲間になって働いてくれる。しかも、人件費は、雇用するよりも圧倒的に安価である。

筆者の場合、こうした仲間との出会いのきっかけは、タクシー広告だった。しかし、クラウド秘書サービスを提供する会社は複数あり、各社各様のサービスをしている。同様のサービスを利用しているという経営者の知人たちにヒアリングし、クオリティが高いと評された会社4社に連絡、担当者とのオンライン面談で2社に絞った。その後、候補者の

方とオンラインで面談し、筆者の仕事に対する考え方やビジョンを伝え、仕事に一緒に取り組んでいただくことにした。具体的な内容はエクセル等でマニュアル化してお伝えしたが、仕事に対するビジョンや目的は、直接伝えなければ、本当の意味での仕事の質は上がらない。

経営者の役割

新型コロナウイルスの拡大とデジタル化の同時進行により、前述の通り、中小企業にとって人材獲得のハードルが極めて低くなったが、今までのやり方だけでは、必ずしもそのチャンスをつかめるとは言えない。

必要なのは、次の2つ。「ミッション・ビジョンの提示」と「決断」である。ミッション・ビジョンは明確な言葉で伝えることが重要であり、それができたならば、細かな戦術は現場に任せることが重要となる。優秀な人材であればあるほど、経営者よりもある分野においては高いスキルを持ち、任せてもらうことを望む。その際に、良い成果を上げてもらうためには、行動の軸となるミッションと結果の軸となるビジョンの提示が不可欠である。それらをしっかりと伝えることで、プロフェッショナルたちを仲間につけ、企業の規模や

立地に関係なく、事業の高度化が進む。ここで、任せるという決断が重要であるが、その際には、誰に、どの金額までのリスクを任せるかを判断しなくてはならない。経営者の仕事の究極は、事業の方向性を示すことと、リスク管理に尽きる。

その意味でも、災害リスクが高まる今、経営者の責任はより重くなっている。平時に臆病なほどにリスクを想定し、打ち手を考え続けることは、強い企業になるための備えである。同時に、共に働く仲間たちへ目指す北極星を指し示し、人間としての成長を実感できる機会を提供することができると、真に強い企業になることができる。

筆者 藤沢 久美

Fujisawa Kumi

国内外の投資運用会社勤務を経て、日本初の投資信託評価会社を起業。2000年、シンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。現在、代表を務める。政府各省の審議委員、投資信託協会やJリーグ等の公益理事に加え、豊田通商等の社外取締役なども兼務。1000社を超える経営者インタビューやダボス会議との連携を通じて、国内外の官民協働支援に取り組む。著書に『最高のリーダーは何もしない』（ダイヤモンド社）、『すぐやる人の、超えてる。思考法』（三笠書房）、『なぜ、川崎モデルは成功したのか』（実業之日本社）などがある。

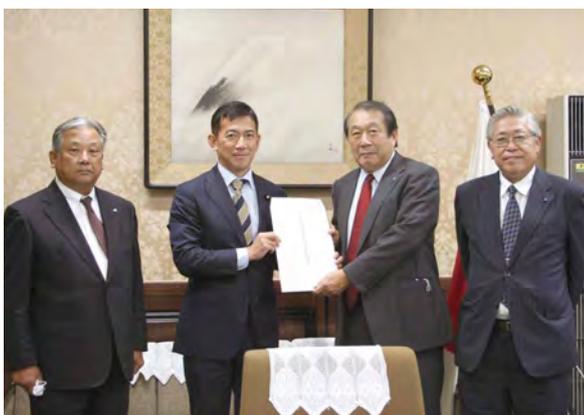


『すぐやる人の、超えてる。思考法』（三笠書房）、『なぜ、川崎モデルは成功したのか』（実業之日本社）などがある。

◆ 税制改正提言活動を実施

令和3年度税制改正に向け、全法連は10月12月の3か月間、税制委員会の飯野光彦委員長が中心となり、政党と省庁に対して提言活動を行った。

政党関係では、自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」、公明党「税制改正要望等ヒアリング」等に出席し、中小企業が新型コロナウイルスの影響により厳しい局面に立たされていることから、事業を継続していくために必要な実行性のある支援策と税制措置を講じることなどを強く求めた。



中西財務副大臣(左から2人目)に提言書を手渡す飯野税制委員長

一方で、我が国の財政は、国・地方を合わせた長期債務残高が1100兆円を超過するなど、先進国の中で突出して悪化しているなか、今回の新型コロナ対策により多額の債務が上乗せされた。我が国は先進国では最速のスピードで少子高齢化が進み、かつ人口が減少するという構造問題を抱えていることから、将来世代に負担を先送りしないよう財政健全化に配慮することも求めた。

また、省庁に対しては、財務省の中西副大臣、総務省の稲岡自治税務局長、中小企業庁の前田長官等と面談し、法人会の提言を来年度税制改正に反映させるよう求めた(提言活動の様子は全法連ホームページにも掲載しています)。

このほか、県連・単位会においても、地元選出国会議員、地方自治体、議会に対して提言活動を実施した。

◆ 日経新聞に意見広告を掲載

全法連は、「令和3年度税制改正に関する提言」を広く会員等に周知するため、令和2年10月5日の日本経済新聞全国版の朝刊に、提言の概要を盛り込んだ意見広告を全面で掲載した(下段は意見広告の一部分です)。

意見広告

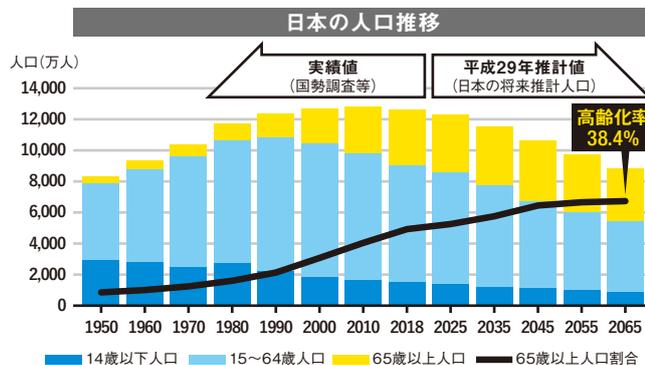
法人会からの提言

コロナ禍の中小企業を救う「税制措置」と 未来のための「財政健全化」を求めます!



公益財団法人 全国法人会総連合
会長 小林 栄三
伊藤忠商事(株) 名誉理事

中小企業を中心として全国約80万社の会員企業で構成される「経営者の団体」「公益財団法人全国法人会総連合(略称:全法連)」は、9月24日開催の理事会において「令和3年度税制改正提言」を決議しました。地域経済と雇用の確保の担い手である中小企業は、新型コロナウイルスの影響により、厳しい局面に立たされています。まずは、経営実態等を見極めながら、中小企業が事業を継続するために必要な支援策や税制措置を講じること強く求めています。また、我が国財政は地方を合わせた長期債務残高が1,100兆円を超過し国内総生産(GDP)の2倍と、先進国の中で突出して悪化していますが、そこに今回の新型コロナ対策による多額の債務が上乗せされました。我が国は先進国で最速のスピードで少子高齢化が進み、かつ人口が減少するという極めて深刻な構造問題を抱えています。このため、将来世代に負担を先送りしないよう財政健全化にも配慮することとし、社会保障制度の基本的考え方、国・地方を通じて徹底した行財政改革の推進などについても提言しています。今後、この提言に基づき、全法連は政府・政党に、各地の法人会からは、それぞれの自治体などに対して提言活動を行ってまいります。



(出所) 2018年までの人口は総務省「人口推計」(各年10月1日現在)、高齢化率および生産年齢人口割合は、2018年は総務省「人口推計」、それ以外は総務省「国勢調査」(2018年までの合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2019年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」:出生中位・死亡中位推計)

◆外務省共催の海外進出企業向けセミナーを後援

外務省・日本貿易振興機構（JETRO）・中小企業基盤整備機構が共催、全法連等が後援する「海外進出企業向け 安全対策セミナー」が各地で開催されている。

セミナーは2部ないし3部構成で、第1部では外務省領事局邦人テロ対策室の石丸淳室長等が「コロナ禍における海外での安全確保」政府の取組と企業の皆様へのお願いについて解説。第2部では株式会社オオコシセキユリティコンサルタンツ（芝法人会）の大越修氏等が「海外リスクと安全対策（武



Webのみの開催となったセミナーで講師を務める石丸氏（左）

装強盗・テロ遭遇時の対応・新型コロナウイルス感染症対策緊急事態初動対応）について講演、また第3部がある会では、JETROや中小企業基盤整備機構などが講師を務め、希望者向けの個別相談会も開催する。

企業の海外進出が進み、日本人がテロをはじめとする凶悪な事件や、事故・災害、感染症、社会運動等の危機・混乱に遭遇する可能性が高まっていることから、セミナーでは、組織と個人が講じるべき対策・対応等や、邦人出国支援から海外での町の歩き方の注意点までを、具体的な事例紹介や演習を交えながらわかりやすく解説する。

すでに海外進出を果している企業にはもちろん、これからの進出を検討している企業にも大変参考となる内容である。10月のWebセミナーを皮切りに、各地で集合形式とWebを併用しながら開催されており、初回から定員の倍以上の申し込みがあるなど大変盛況で、今後は次の日程での開催が決定している。

●3部構成セミナー

1月21日（木）東京 定員150名

1月27日（水）大阪 定員100名

2月17日（水）名古屋 定員100名

2月18日（木）静岡 定員50名

2月下旬 福岡 定員50名

●2部構成セミナー

3月上旬 Webのみ 定員1000名

<http://www.globalsecurity.jp/>

お土産、万歳!

最近、徐々にですが出張の機会が出てきました。コロナウイルスを持って行ったり、もらって帰ったりしないよう注意をしながら、お土産だけは買って帰ります。

『御栗タルト』

株式会社ハタダ（新居浜法人会）

しっとりしたカステラ生地と特産の柚子を使った甘さ控えめの餡に、ゴロンとした大粒栗を一粒ずつ並べて、職人が手巻きした贅沢な一品。東温市のハタダお菓子館ではタルトの手巻き体験もできるらしい。



『えび黒こしょう』

岩塚製菓株式会社（長岡法人会）

黒胡椒がピリッ、後から海老の香ばしさがフワッ。食べ出したら止まん。ビールに良く合う、まさに「大人のおつまみ」。各地スーパーでも買えるけど、この直売店限定お徳用パックならばらまきたい人にもピッタリ。



『どじょう掬いまんじゅう』

中浦食品株式会社（松江法人会）

アラエッササー。手ぬぐいをかぶったひょっとこ顔の山陰銘菓。定番の白餡の他、抹茶・栗・二十世紀梨餡などフレーバー多数。受験シーズンには「受験生を救う（掬う）」と人気だとかで、ドデカサイズもあるみたい。



『万代太鼓』

株式会社大阪屋（新潟法人会）

年輪状に焼き上げたソフトクッキーとふわふわクリームの焼菓子は、新潟の郷土芸能「万代太鼓」がモチーフ。西洋梨ル・レクチェや完熟いちご・レモンなど、季節限定の味も。



札幌北一 北海道

租税教室DVDを制作

札幌北法人会青年部会は、平成22年度から管内小学校で租税教室の出席授業を行ってきたが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年の半数の開催に留まっている。

そこで、コロナ禍が収束するまでの租税教育支援策として、管内だけでなく道央圏にも活用可能な「租税教室DVD」の制作を決定した。

夏休み前の7月末、会員である制作会社に講師の青年部会員が集まり



以下の基本方針を確認。まず、丁寧な作りこみとし、国税庁の租税教育用アニメ「マリノとヤマト不思議な日曜日」を中盤に組み込むこと、収録時間を授業の1時間限分を超えない40分とすること、説明とクイズのバランスを考えメリハリをつけること、またクイズ等に合わせた図表・アニメ・効果音などを的確に挿入することとした。

8月4日、一日がかりで収録し、試写と編集を経て完成したDVDは「暮らしを支える税を学ぼう」というタイトルとなり、2学期の活用に向け管内の小学校に届けられた。今後は管外にも周知を図り、配付や貸し出しを行う予定である。

釜石地区一 岩手

3小学校へ善意を伝達

釜石地区法人会は7月、釜石市立

白山小学校、遠野市立附馬牛小学校、大槌町立大槌学園の3校に寄付金の目録を届けた。これは、チャリティゴルフコンベンなどの募金活動による被災地支援を継続的に行ってきた横浜市の緑法人会から、岩手県連に寄せられた復興支援寄付金合計27万円を、被災地の学校へ備品等の支



援を目的に贈ったもの。

釜石地区法人会では震災前から管内の小学校で租税教室や「税に関する絵はがきコンクール」を実施しているが、今回の3校は特に積極的に参加してくれた小学校で、上位入賞の実績もある。

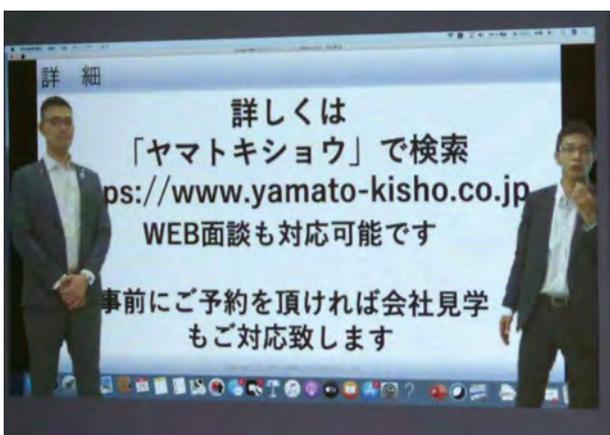
白山小学校には新里会長が、附馬牛小学校には萩野副会長が、また大槌学園には後藤副会長がそれぞれ訪問。各校長からは「皆様のご厚意に感謝する。寄付金は児童が使用する備品取得のため有効に活用させていただく」と感謝の言葉が述べられた。

麹町一 東京

管内の大学で企業説明会

麹町法人会交流委員会は、会員向けの人材採用支援事業として、千代田区の強みを生かした企業説明会を、9月から10月にわたり4回開催した。

例年、管内大学生のプレゼンテーションを取り入れた「地域企業と大学生との交流事業」を行ってきたが、本年度は「会員企業向けの人材採用支援」を目的にインターンシップ等の企画を進めていた。しかし、



新型コロナウイルスの影響で事業の延期が続く、各大学の就職活動状況や意向を確認したところ、就職活動は各大学とも例年になく苦戦を強いられていることが判明した。一方、企業からは、少子化のため「学生の採用が難しい」、「どのようにして学生を募集すればよいかわからない」といった意見が寄せられた。

そこで、同法人会で「産学」をマッチングさせることで「地域企業への貢献」や「地域大学生の就職幹旋」に資することができると考え、人材採用支援事業に踏み切った。これは今後、麹町法人会へ入会するメンバーとしても大いに役立つと思われる。

9月25日、千代田区紀尾井町にある城西国際大学で実施された説明会にはオンラインで15名の学生が参加。WEB配信された各社40分程度の動画は、大学の協力で提供され、4年生約1100名全てが閲覧可能となった。

また、同法人会管内には大妻女子大学、共立女子大学、上智大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、日本大学、法政大学等多くの大学があり、それぞれで事業内容は若干異なるが、今後は周辺全ての大学で説明会の開催を予定している。

浜松西一静岡

女連協が紡いだ支援の輪 豪雨被災地へ繋がる

7月に日本各地を襲った記録的な大雨は、特に九州地方に甚大な被害をもたらした。浜松西法人会の竹内元女性部会長は、平成25〜26年度の全法連女連協役員として、ともに運営に参画していた福岡県大牟田法人会・井形女性部会長と交流を続けてきた経緯から、被災地にトイレットペーパー1960ロールを寄贈した。これは静岡県連女連協の元会長である高野



氏が自社製品のトイレットペーパーを原価で提供されたもので、井形氏を通して大牟田市内の小学校等へ届けられた。後日、子ども達や教育委員会からもお礼の手紙が届いた。法人会会員の紡いだ絆が、支援の輪となり広く繋がっていくことを願っている。

岐阜県連

PTA新聞で広報活動

岐阜県連では、岐阜県PTA連合会発行の「PTA新聞」の紙面を活用して法人会活動を紹介しており、平成20年度から開始した連載は、今年度で12年目を迎えた。

この新聞は、県下全ての小・中学校の児童・生徒に配布され、保護者や家族にも読まれることから法人会の租税教育活動の一助となっている。従来は、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が主催する中学生の「税についての作文」コンクールで受賞した県内の優秀作品を2稿掲載していたが、昨年から法人会女性部会が中心となって行っている「税に関する絵はがきコンクール」も加わった。令和元年度は、岐阜県下の参加小学校114校からの応募3832作品中、7単位の各優秀代表作品を

掲載、併せて法人会の活動なども紹介した。



西大寺一岡山

税の「先生」は高校生

西大寺法人会では9月3日、地域貢献活動事業の租税教室を西大寺小学校で開催し、6年生92名が参加した。今回は、西大寺高等学校商業科の生徒6名が課題研究「開放講座」の一環で講師となり、2人1組で3クラスに分かれて実施。4回目となるこの取り組みは、令和元年の青年の

集いの租税教室プレゼンテーションで奨励賞にも輝いている。

「税金って聞いたことがありますか？」の掛け声で授業はスタートし、日本の税金は約50種類あること、医療費や災害などの復興支援といった公共サービスに使われていることなど、税の種類や仕組みを分かりやすく解説、さらに、税金が日常生活の上でどのように使われているかをクイズ形式で伝え、児童たちの興味を引き付けた。

受講した児童からは「今まで税金がなかったらいいと思っていましたが、税金が大切だと改めて感じた」「思っていたよりいろいろなものに税金が



使われていることが分かった」などの感想が寄せられた。講師となった高校生は「普段の生活で関わっている様々なものにも、税金が使われているということを知ってもらえたらうれしい」と語っていた。

今回の模様は地元新聞社とテレビ局の取材があり、広く岡山県内にも報道された。今後も次代を担う子ども達に税の大切さを伝えるため、地域との絆を深める租税教室を開催し、さらに法人会の認知度向上にも努めていきたい。

岡山東一岡山

子どもエコクラブ 交流学習in未来わく わくSDGsフェスタ

8月20日、岡山東法人会青年部会
はイオンモール岡山で「子どもエコ
クラブ交流学習in未来わくわくS
DGsフェスタ」を開催した。

同会では、毎年3月に「子どもエ
コクラブinおかやま活動発表会」を
開催し、県内の子どもエコクラブの
1年間の活動をまとめた壁新聞を發
表する場を提供してきたが、今年度
はコロナ禍で開催を断念していた。

そこで、岡山市主催のSDGsイ



ベントの一部に、子ども達の発表の
場を設けることを企画。

夏休みが短縮されたことや新型コ
ロナ感染予防の観点から、来場でき
ないクラブも2つあったが、事前に
壁新聞の説明動画を撮影し、当日ス
テージ上で動画を再生。

SDGsイベント用に作成した
「税金クイズ」にも、コロナ禍で来場
者が少ない中、123名もの参加が
あった。「できない」ではなく「何が
できるか」を考えて実施し、準備は
大変だったが、発表した3クラブの
子ども達や来場者の笑顔は大きな喜
びとなった。

厚狭 一口

Web 税務研修会を実現

厚狭法人会は研修相談事業として
10月2日、税制改正・実務担当者向
けの税務研修会を開催した。厚狭税
務署の紹介により下関税務署審理専
門官を講師に迎え、AIG損害保険
株式会社の協力を得てWeb形式を
初めて試みた。25回線の申込みがあ
り、複数での画面共有が可能とな
り、約40名の視聴となった。

コロナ禍で講師、受講者、事務局そ
れぞれが不慣れな状況ではあったが、



一丸となって新しいスタイルに取り組み研修が実現できた。また、研修中には講師から「自己点検チェックシート」の推奨もあり、より一層の周知も図られた。今後もこのようなWebセミナーを実施し、魅力ある法人会を目指したい。

大分 一大分

『密にならない租税教室』 YouTube配信 スタート！

大分法人会青年部会の租税教室委員会では、コロナ禍の現在であつても小学生に正しい税の知識と税に対する意識を高めてもらおうと、YouTubeによる「密にならない租税教室」の動画配信を開始した。

動画は委員会メンバーが出演して授業の様子を再現。内容を面白くするのはもちろん、児童が集中して視聴できるように1本あたり11分程度で2本立ての構成にするなど工夫した。

YouTubeを閲覧できる環境の有無にかかわらず視聴してもらえるよう、動画はDVDにして小学校へ配布。また、女性部会が例年開催している「税に関する絵はがきコンクール」の募集チラシに動画のQRコード



(下記参照) を掲載して、作品を描く前に見てもらおうなどの周知を図り好評を得た。



宇土 一熊本

正代関 画びょうアート

宇土法人会女性部会と青年部会では、11月11日から始まった「税を考える週間」に合わせて税について考え、納税意識を高めるための広報事業として「スマホ×確定申告 進化するスマート申告」のキャッチフ

レーズが入った「正代関 画びょうアート」を制作した。

この画びょうアートは、宇土市出身の力士・正代関（時津風部屋）が、大相撲秋場所で熊本県勢初の幕内優勝を果たし、大関に昇進した快挙を記念して制作したもの。賜盃を持つ笑顔の正代関を約14000個の画びょうを使用し、縦横各240cmのパネルに表現した。制作期間は約3週間。

ecowin宇土アリーナ（宇土市民体育館）では11月10日に除幕式が行われ、同法人会の岡村青年部会長や宇土市長、宇土税務署長をはじめ



約30名が出席。

女性部会長の豊田氏は「このパネルアートは、正代関の益々の活躍を期待し、そして社会全体が皆さん一人ひとりの税金で成り立っているということを表現するため、画びょうを税金に見立てて作成しました。ぜひ、正代関にも見ていただきたい」と挨拶。その後、画びょうアートは正面玄関に展示され、年内までアリーナを訪れた多くの市民を楽しませた。

リレーニュースは全法連のホームページからもご覧いただけます。また、全国の法人会の皆さまによる地域での活動を、ご投稿ください！



法人会リレーニュース

検索

マイナンバー、3つの論点

菅政権ではデジタル庁の創設やマイナンバーの活用が最重要課題の一つとなっています。背景には、コロナ禍で判明した国・地方のデジタル基盤がお粗末で、国民全員に10万円を配る特別定額給付金制度（以下、給付金制度）が混乱をきたし、時間がかかったということがあげられます。

一方マイナンバーの活用拡大については、国民に様々な懸念があり、丁寧に議論を行ったうえで進めていく必要があります。そこで、マイナンバーに関する3つの論点を取り上げて考えてみましょう。

まず、前述の給付に当たってマイナンバーは今回なぜ活用されなかったのかという問題です。この点については、給付金制度の事務は、番号法に記載されたマイナンバー利用事務には類さないと考えられています。番号法は、プライバシーへの配慮からその利用を社会保障・税・災害の3分野に限定しており、そのいずれにも当たらな

い今回の給付金制度では活用ができなかったのです。今後マイナンバーの活用範囲を広げるためには、その都度国民の理解を得るための法律改正が必要になるということです。

その一方でマイナンバーカードは、カード搭載のチップが公的個人認証機能を持つので給付金申請の本人認証に活用されましたが、住民基本台帳との突合に時間がかかり、これも改善すべきことがわかりました。

次に、預金口座へのマイナンバーの付番という問題です。給付が遅れた最大の理由は、預金口座と紐づけされていないので照合に時間がかかったということです。そこで、個人の申し出により、給付を受けるための口座をマイナンバーポータルに登録する制度が議員立法として提案されています。

マイナンバーの導入目的は、公平な課税と効果的な社会保障給付です。相続税など公平な課税のためには、預金口座への付番は欠か

せません。また社会保障分野でも所得だけでなく資産を勘案して余裕のある者に負担を拡大していくことが公平化につながります。世界を見ても、預金口座と番号が紐づいていないのはわが国だけという事実があり、政府ではより広い範囲での口座付番について検討が進められています。

この点について国民は、国（税務当局など）に口座情報を知られたくないという強い思いがあり、付番には消極的です。しかし付番しても、国が個人の口座内容を法律の根拠なく勝手に見ることはできません。逆に税務調査の必要があれば、付番の有無にかかわらず個人の口座内容を見ることは可能で、正直な納税者には問題がないと言えます。誤解をただしていく必要があるでしょう。

最後に、プライバシーの問題です。これは政府への信頼の問題だという意見があります。その通りですが、番号の活用が顕著な国として挙げられるエストニア、韓国、

中国、スウェーデンを見てみましょう。エストニアはロシアの脅威に国の存亡が侵されており、韓国は準戦時体制の国で、中国は共産党支配の国という固有の事情があります。スウェーデンは、第一次、第二次大戦を通じて中立国で、国家のために国民の命が犠牲にされたという歴史がないことが政府への信頼につながっています。

このような事情の存在しないわが国では、セキュリティや個人情報保護のレベルを上げながら、番号のメリットとデメリットを比較考量してすすめていくという方法しかないと思われます。その際、政府が付番の必要性について国民の説得をすることも重要です。

番号の本質は、国民一人一人を識別するツールです。重要なことはそれを活用してどのような政策を作るかという点で、そこを議論しなければならぬと思います。デジタル・ガバメントという名称で、単に行政手続きの簡素化（重要なことですが）だけに終わってしまうのでは意味がありません。

保険適用による効果は限定的 不妊治療には総合対策が必要

菅義偉首相が、政権の「看板政策」の1つとして不妊治療を健康保険の適用対象とする方針を打ち出した。高度な医療技術を要する治療法の場合には多額の費用を負担する必要がある、断念する人が少なくないためだ。だが、保険適用したからといって成功率が高まるわけではなく、仕事との両立など総合的取り組みが求められる。

菅首相が不妊治療への保険適用を打ち出した背景には、子供ができない夫婦の期待の高まりがある。

国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査（2015年）によれば、予定の子供数を「0人」とする夫婦の74・0%が「欲しいけれどもできない」と回答している。

不妊を心配したことがある夫婦は2002年の26・1%から2015年には35・0%に上昇。不妊治療を経験した夫婦も12・7%から18・2%へ増加した。

実際に、「体外受精」（精子と卵子を体外で受精させて子宮に移植）によって生まれた新生児は年々増え続けている。

日本産科婦人科学会によれば、2018年は5万6979人に及ぶ。同年の出生数は91万8400人だから、およそ16人に1人が該当する計算となる。

2019年の年間出生数は想定より2年も早く90万人を割り込んで86万人台となるなど、少子化スピードは速まってきている。

しかもコロナ禍の影響で2020年5〜7月の妊娠届出数は前年同期比11・4%となり、2021年以降の出生数の激減が予想される。もはや体外受精による6万人近い誕生は無視できないというわけだ。

4割が治療費 「50万円以上」

期待の高まりに反して、不妊治療のハードルは低くはない。現行では、健康保険が利用できるのは検査や自然妊娠の可能性を探る「タイミング法」などに限られるためだ。

より妊娠確率が高い「人工授精」（子宮内にチューブで精子を入れる）、「体外受精」、「顕微授精」（体外で卵子に精子を注入し受精させる）へと進んでいくケースが多いが、高度な技術を用いる治療法はコストが高く、当事者の自己負担も大きくなる。

NPO法人「Fime」の調査によれば、体外受精1周期あたりの平均治療費を「50万円以上」と回答した人は43%に上った。

厚生労働省や一部の自治体には支援制度もあるが、夫婦の合計所得額や妻の年齢などの条件がある。このため、貯蓄の取り崩しなどで対応せざるを得ず、経済的余裕のない若い世代をはじめ、経済的理由から治療を断念する夫婦が少なくない。

政府には、保険適用によって各受診者の治療回数が増えれば、妊娠確率も大きくなり、出生数も増えるとの思惑がある。

仕事との両立 支援ポイント

とはいえ、政府の思惑通りにいくとは限らない。

保険適用となって治療機会が増えても妊娠に結びつく率は単純には上昇せず、効果は限定的だからだ。

一般的に、妻の年齢が上がるにつれて妊娠しづらくなる。保険適用をすると同時に、晩婚の流れに歯止めをかけるという根源的問題を解消する政策の強化が求められる。

治療しやすい環境づくりも喫緊の課題だ。不妊治療は長期化しがちで、仕事との両立に悩んでいる人は多い。不妊治療のための休暇を取得しやすくする制度づくりがポイントとなるだろう。不妊治療を行っている人に対して、職場の配慮や協力も不可欠となる。

他方、治療を受けた人のすべてが妊娠に結びつくわけではない。保険適用となった場合、どのタイミングで治療を終了するのか「やめ時」を見極めづらくなるという、新たな悩みへの誕生を指摘する声も多い。

不妊治療は肉体的だけでなく、精神的な負担が小さくない。治療を受ける人に寄り添ったケアやガイドラインの策定も重要となる。



スメハラにご注意を

大谷 克弥

医療ジャーナリスト

身体臭いが不快で仕事にならないと訴えられる時代

スメハラのスメはスメル(臭い)のことで、言葉としては「スメル・ハラスメント」の略語です。ハラスメントは主に職場で起きる嫌がらせとか、不快な行為のことで、それを短くして使うセクハラ、パワハラ、モラハラなどをご存じでしょう。

職場で臭いが取り上げられるということは、ハラスメントの領域に臭いも入ったことを意味しますが、誰しも真っ先に思い浮かべるのはタバコの臭いでしょう。しかし現在は副流煙の問題が立ちはだかつて、働く場所での喫煙は厳しく禁じられていますから、矢おもてに立つのは別の臭いと考えていいでしょうね。

不快な臭いで思い出すのは、二十数年前に社会問題化した「オヤジ臭」です。場所は職場ではなく一般家庭で、クレームの主は思春期のわが娘でした。仕事から帰った父親が下着を洗濯機に投じると、「嫌な臭いが

うつる」と放り出すのが流行になりました。母親は娘の味方でした。

こうした事態に化粧品会社は男性用の香水製造に乗り出しますが、1999年に資生堂は、この嫌われる臭いは皮膚の皮脂に含まれる成分が40歳を過ぎた頃から変化して発生するノネナールであることを世界で初めて突き止め、発表しました。

同時にこれは、閉経後などの年配女性にも発生することが分かりました。それで「加齢による体臭変化」という意味から「加齢臭」が広く使われるようになり、「オヤジ臭」は次第に使われなくなりました。

年齢差を示す別名「エイハラ」

それから時代は流れ、近年になって登場したスメハラでは、口臭とワキガが横綱クラスのほか、香水、柔軟剤なども目につきます。それに加えて旧エースの加齢臭も、体臭とのセットで上位に入っています。

職場でスメハラ被害を訴えるの

は、やはり若い女子社員が多いようです。身近でいつも嫌な臭いを発せられては頭痛やメマイがして仕事にならない、と矛先の大半は上司を含む高年男性に向けられています。ただ香水の濃さや種類などに関して

は、同性の先輩も容赦されません。このスメハラの名は、エイハラです。エイジング・ハラスメントの略語ですが、つまり年齢差によってハラスメントが生じることを物語っています。かつての「オヤジ臭」は娘さんが父親に精いっぱい聞き直して使ったのかも知れませんが、

化粧に関しては「コスメティック・バイオレンス」という若者言葉があります。つまり「化粧による暴力」のことですから、時代は大きく変わりました。高いお金で暴力を買っていることになるのですから。

若い女性の逆パワハラとも

スメハラ問題が非常に難しいのは、臭覚は個人差が大きくて、臭うか臭

わないかを決める明確な判断基準がないことです。早い話、おいの漢字に、臭いもあれば匂いもあるのと同じ理屈、とも言われています。

ある企業の男性管理職から、こんな声を聞きました。「若い女性に『息が臭いから、一年中マスクをしていろ』と言われた。コロナ禍の最中ならともかく、人権侵害だ。世間知らずの小娘の逆パワハラだよ」。

訴える側に過剰反応の人がいるのは確かなのですが、職場環境を悪化させないようにと、スメハラ予防を兼ねた健康管理策に知恵を絞る企業もあるようです。

例えばクレーム一番の口臭は、起床時や空腹時の生理的口臭もあれば、歯周病、消化器病などによる病的口臭もあります。それらを丁寧に説明し、専門医を紹介するのです。

生理的口臭は睡眠時間、食生活、歯磨きなど日常のライフスタイルが大きく影響します。別の見方をすると、それを減らしていけば中高年男性の存在感を高めるはずですよ。

若い女子社員には年長者に対する言葉遣いを注意するとして、年配男性が家庭で注意をほらう口臭対策は、現代社会を快適に生きるエチケット、身だしなみ、と考えたいですね。



“銀行口座”を 整理しよう!

これからは、銀行口座がたくさんあると「損」をする時代になるかもしれません。

三井住友銀行が、2021年4月以降に開設する口座から「口座管理手数料」などを徴収すると発表しました。対象は、①ネットバンキングの利用がなく、②2年以上取引のない、③残高が1万円未満の口座で、税込額で年1100円を口座から引き落とすことにするようです。ただし18歳未満と75歳以上についてはこうした手数料の徴収はありません。同行は22年度までに本部人員を約3割減らすという方針なので、銀行口座を人件費がかからないインターネットバンキングになるべく移行してほしいということでしょう。

実は、地方銀行や信用金庫ですでに手数料導入が進んでいて、信用金庫の約2割にあたる約40行以上が、今年度末までに同じような徴収を始めていく予定です。

自分の銀行口座なのに手数料を取られるというのは釈然としない、という方もおられるでしょう。ただ、時代はどんどんインターネットに移行していて、特に新型コロナでは3密を避ける対策にもなります。不慣れな方は、お子さんなどに頼んでネットの口座を開設してもらいましょう。

口座が開設できればあとは簡単です。手始めに、残高照会をしてみましょう。残高照会は無料ですから、練習にはぴったりです。

最近、ドコモ口座の不正利用などで、いつの間にか自分の預金が引き出されていたというような事件も起きていますが、パソコンで口座の残高照会が頻繁にできれば、こうした犯罪もすぐに発見することができます。

しかもネットバンキングは、いつでも口座の状況がわかるだけでなく、振り込み料金などが窓口で振り込む半額から3分の1というところもあります。

ただし、注意しなくてはいけないこともあります。「あなたの口座が〇〇被害に遭いました」など、不安をあおるようなメールが届くことがあります。こうしたメールはほとんど詐欺メールですから、絶対に返信せず、すぐに削除しましょう。

★「郵便局」の20年経っている貯金は没収される

ネットバンキングは難しいと言う人は、せめて銀行や郵便局に持っている口座を減らしましょう。

2019年1月から、10年以上動きのない口座は「休眠口座」として一部を国が管理し、社会事業費として活用することになりました。

いきなり「休眠口座」になってしまうのではなく、「休眠口座」になる可能性のある9年以上入出金のない口座のうち、残高が1万円以上のものには通知が郵送されます。ただし残高1万円未満の「休眠口座」は、郵送通知なしで国が管理する休眠口座になります。

銀行や信用金庫などの場合には、「休眠口座」になっても、預金者が気付いた時点で銀行に申し出れば、いつでも出金や解約が可能です。

これに対し郵便局の口座では、出し入れがない期間が長いと口座にあるお金が没収されてしまうケースもあるので要注意です。郵便局の口座も、「郵政民営化」された2007年10月1日以降のゆうちょ銀行の貯金は、民間の銀行の「休眠口座」となるので、請求すればいつでも引き出しが可能。民営化前の2007年9月30日までに預けられた定額郵便貯金、定期郵便貯金、積立郵便貯金、住宅積立郵便貯金、教育積立郵便貯金など定期性の郵便貯金については、預入から20年間入出金がない口座は、国に没収されてしまいます。

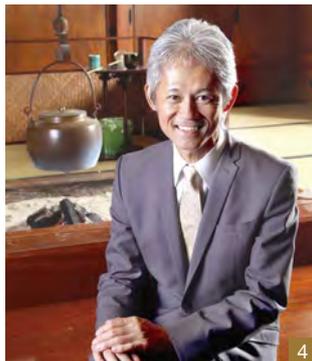
郵便局は身近な金融機関ですし、郵便局員の方とも顔見知りなどで過去に頼まれいろいろな貯金をしてきたという人は、もう一度、通帳を見てみましょう。忘れていても、こうした貯金についてはあらかじめ2ヶ月前に「権利消滅のご案内（催促状）」が送られてくるはずですが。

ただ、結婚して名前も住所も変わっていたりすると、手紙が届かないケースもあります。心当たりがある方は郵便局に問い合わせしてみましょう。もし口座が見つかったら、マイナンバーカードや運転免許証、パスポートなど本人証明ができる書類を持って、郵便局の窓口に行けば、払い戻してくれます。

老舗の肖像

file:
023株式会社 ホテル佐勘
創業 元暦元年 Since 1184

宮城・仙台南法人会



仙台市の西南西、二口溪谷に源を発する名取川のほとりにある秋保温泉は「仙台の奥座敷」とよばれ、最も古い記録は古墳時代にまで遡る。小瘡を患った欽明天皇(在位539〜571年)が、都まで運ばれた秋保の湯で沐浴し、全快した喜びをしたためた和歌が残っている。以来、「名取の御湯」と称されたこの湯を平安時代から管理したが、平家の武将だった佐藤勘三郎だ。江戸時代に仙台藩が置かれてからは湯守となり、歴代の伊達家当主は秋保を訪れる度に必ず佐勘の湯で身体を癒していた。

大正時代には馬車軌道が開通し、湯治客が急増した。法人化されたのは、昭和8年。現在は総部屋数173室の佐勘をはじめ、同市内、松島町、亘理町、名取市に計5軒の旅館・ホテルを運営。長い歴史と伝統を大切にしつつ、近年は多様化するニーズを汲みとり、時代の感覚にあった空間を演出している。降りそそぐ星空や心地良い秋保の風

苦境は力に、変化は強さに

代表取締役社長 佐藤 勘三郎

を感じられる専用庭園、パークエクトな寝心地の全米シェアNo.1「サータ社」製ベッドの設置、サウナの本場・フィンランドの「ロウリュサウナ」のオープンなど、既成概念に捉われずグローバルな多機能旅館を目指している。

一方、秋保のみならず宮城の地域振興にも積極的だ。東日本大震災では大きな被害を受けつつも、復旧に携わった作業員や被災者の親族たちを積極的に受け入れ、途切れることなく湧き続けた湯で彼らを癒やした。そして、平成28年に開催されたG7財務大臣・中央銀行総裁会議では、苦難の時を乗り越え、復興した美しい姿を世界に届けた。その後は大きなインバウンド需要に恵まれていたが、今回はコロナ禍で前代未聞の大打撃を受けている。しかし、この千年に及ぶ歴史の中で幾多の苦境を経験した佐勘なら、この試練をも力に変えて、次の1000年へ歩みを続けていくはずだ。

Company Profile

株式会社 ホテル佐勘 本社所在地 ■宮城県仙台市太白区秋保町湯元字薬師28 022-398-2233
業種 ■ホテル・旅館業 従業員数 ■260名 <https://www.hotel-sakan.com/>

1 名取川の四季折々の美しさを感じながら、1000年の歴史を誇る温泉を心ゆくまで楽しめるホテル佐勘。母屋その左隣に藩主の御客用の御殿らしき建物がみえる。

2 歴史を感じられる主屋には、貴重な史料も多数展示されている。

3 「釣奇覧」に記された秋保温泉の図(安政4年/1857)。中央上部に湯守の

4 第34代当主の佐藤勘三郎氏。左後ろの囲炉裏には、約400年前に屋敷や湯宿を焼失した際に、当主が約48日かけて高野山に参り、持ち帰った家宝の聖火が燃え続けている。

5 大正時代の佐勘

福岡県中央、古処山の麓に位置する朝倉市秋月は、鎌倉期には秋月氏が、江戸期には黒田氏が統治した城下町。白壁の土蔵や武家屋敷が残るまちは重要伝統的建造物群保存地区に指定され、「筑前の小京都」と呼ばれている。

創業は文政2年(1819)。酒屋や蠟屋を営んでいた廣田屋の初代・久助は、藩主・黒田長舒ながのぶから産業振興の命を受け、食用の葛作りを目指した。和歌山の保田村での修業や多年の研鑽を重ね、完成させた本葛は幕府への献上品となり、江戸でも『久助といえは葛のこ』と評判になった。文化・文政期の書物には『久助』の名が数多く残っている。

明治維新後、同業者が乱立し商売は厳しくなるが、明治10年の第1回内国勸業博覧会では「品質準備ナリ」と賞され、大久保利通名の褒状を貰っている。その後、宮内省御用となり、昭和天皇即位の大嘗祭の献上品にも選ばれた。

こだわり抜く覚悟、変革への気概

代表取締役 高木 久助

しかし、昭和の高度成長期には本葛の消費が減少。業務用に安価な甘藷澱粉が普及すると、消費者へ直販する方針に転換。人気の「葛湯」が完成したのもこの頃だ。そして、まだ珍しかったオフィスコンピュータによる通信販売にも着手する。

現在では、自社工場のある鹿児島鹿屋で原料の寒根葛を収穫し半製品まで加工、最後は秋月の澄んだ空気と名水で寒ざらしを行い、自然乾燥で仕上げている。完成まで約1年、気の遠くなるような手間のかかる伝統的手法は一子相伝で継承され、現在に至っている。商品のラインナップも増え、最近では本葛100%のロールケーキを開発するなど、時代のニーズを捉えた商品開発にも余念がない。伝統を守りつつも時代の流れに逆らわずダイナミックな変革に挑む勇氣。初代・久助のDNAは、創業当時と変わらぬ矜持として今も息づいている。

1 築270有余年、江戸期の商家の佇まいが風格を感じさせる本店
2 本店内の甘味処。いたげる葛もち。独自の食感の本葛100%ならではの「じつくり乾燥させ、大きな結晶体となった100%天然純国産の久助本葛は表面に布の模様がついているのが特徴」
3 10代目当主の高木久助氏。原料の寒根は、たぐりつと澱粉を蓄える晩秋から新芽が出る春先までの数ヶ月間に収穫する
4 昭和天皇の大嘗祭に献納する久助本葛を公用車に積む8代目(右側)



Portrait of the
LONG ESTABLISHED
COMPANY

file:
024

株式会社 廣久葛本舗
創業 文政二年 — Since 1819

福岡・甘木朝倉法人会

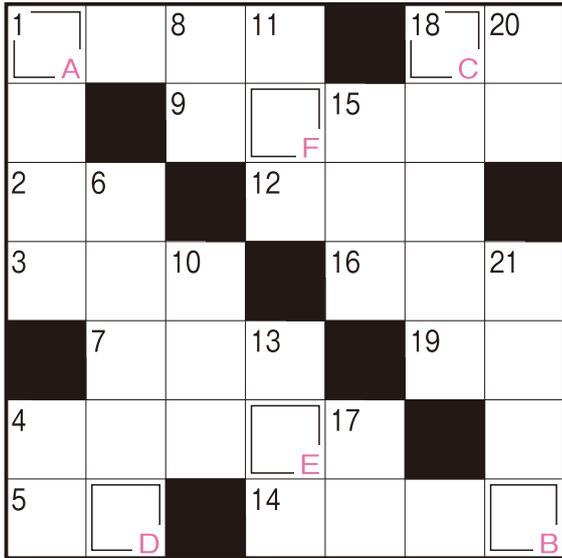
Company Profile

株式会社 廣久葛本舗 本社所在地 ■福岡県朝倉市秋月532 0946-25-0215
業種 ■天然純国産本葛製造 従業員数 ■8名 <http://www.kyusuke.co.jp/>

クロスワードパズル

crossword puzzle

ヒントを元に言葉をマス目に記入したあと、Aから順に繋げて読むと、答えがでできます。答えはこのページの下にあります。マス目に入るヒントの言葉は、右のQRコードでご覧になれます。



ヨコのカギ

- 1 視線ともいう。羨望の_____
- 2 覆いをかけずに育てる_____栽培
- 3 米国に50ある
- 4 1枚ずつめぐりながら、お話を語り聞かせます
- 5 元素記号Au
- 7 現実のこと。夢_____
- 9 カップやグラスの下に敷く
- 12 ゴールキーパーは「最後の_____」といわれることも
- 14 ビーナスともいう惑星
- 16 「わっしょいわっしょい」と担当
- 18 これから育つ植物。_____床
- 19 これにすんでいる飼犬もいます

タテのカギ

- 1 現実にはないこと。夢_____
- 4 土手鍋にも使われる貝
- 6 _____税は、暮らしている都道府県や市区町村に納めます
- 8 名もなき小さな魚たち
- 10 実物ではないコピー
- 11 _____ベルトをしっかりと締めてドライブ
- 13 種から油を採ったりする花。寒_____
- 15 カマボコの材料にもなる魚肉ペースト
- 17 銀行_____ ゴム_____ 実_____
- 18 ココナツが原料のコリコリ食材
- 20 アルファベットの1番目
- 21 税金は、公的扶助などの_____保障にも使われています

ほうじん 新年号 2021 No.711

- 1 年頭寸言
- 2 私の経営哲学
株式会社 クック・チャム
代表取締役社長 藤田敏子
人の成長こそが 企業の成長
- 5 特集
中小企業にとっての
ニューノーマル
- 8 全法連ひろば
- 10 リレーニュース
- 14 税論
- 15 情報分析の目
- 16 健康バンザイ
- 17 暮らし塾
- 18 老舗の肖像
株式会社 ホテル佐勘
株式会社 廣久葛本舗
- 20 ▶クロスワードパズル
▶間違いさがし

▶ご意見・ご要望・ご感想は
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町5-6
公益財団法人 全国法人会総連合「ほうじん」係へ



間違いさがし

2枚の絵には、間違いが7か所あります。頭のコリがとれるかな？ 答えはこのページの下にあります。

【編集後記】

1年ぶりの松山空港は、あいにくの空模様。朝食代わりの「蛇口からみかんジュース」で気合を入れ、レンタカーに乗り込む。路面電車との並走に戸惑った松山、造船所の巨大クレーンの今治、石槌山のふもと西条を経由して、予定より少し早めに新居浜に到着。空いた時間で、東洋のマチュピチュと言われる別子銅山・東平エリアの産業遺産見学を思い立つ。細く曲がりくねった山道を抜けると、その先に現れたのは、山肌に沿ってそびえたつ重厚な花崗岩や煉瓦で造られた遺構の数々。雨に煙る天空都市の幻想的な光景に大満足。
夜は一転、気さくな女将と名物の「ぶぐざく」にお酒も進む。密とかを気にせず、ゆったりと柑橘王国を楽しめる時期が早く来ないものかな。(澤田彰)





謹賀 新年



1971年に創設された
「経営者大型総合保障制度」は、
会員企業のみなさまにご愛顧いただき、
創設50周年を迎えました。

大同生命は
「経営者大型総合保障制度」を通じて、
引き続き、みなさまに大きな安心を
お届けしてまいります。
本年もよろしく願い申し上げます。



DAIDO 大同生命保険株式会社

大阪本社/大阪府大阪市西区江戸堀1-2-1 TEL (06)6447-6111
東京本社/東京都中央区日本橋2-7-1 TEL (03)3272-6777